

NEWS LETTER Plus.

働き方改革に取り組む医療機関 好事例



今回は、福井県済生会病院 経営企画課 高島さんより『遠隔操作ロボット~newme(ニューミー)の導入~』についてお話をお伺いしました。

名称	社会福祉法人 ^{恩賜財団} 済生会支部福井県済生会病院
理念	患者さんの立場で考える
基本方針	済生の心を実践する病院 地域の一員として信頼される病院 地域医療、がん医療、急性期医療、予防医療をリードする病院 変革してゆく病院 ともに学び、活力溢れる病院
所在地	福井市和田中町舟橋7番地1
病床数	460床(一般:456床、結核:4床)
診療科	24科



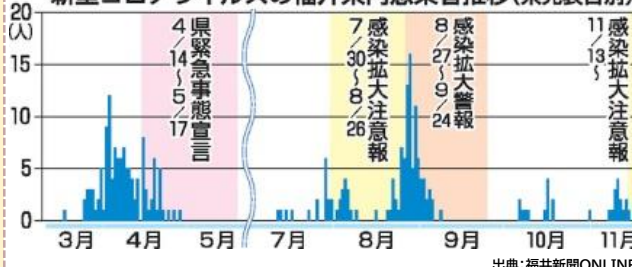
取組みの背景と目的

福井県では新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、入院患者数についても基準を超える見込みがあることから、令和2年8月27日(木)「福井県感染拡大警報」が発令されました。このような状況下において医療従事者の感染を防ぎ、安全に治療を行うためには、極力患者様との接触を少なくする必要があります。また入院されている患者様は、面会禁止によりご家族とも会うことができず、不安な日々を過ごされている場合があります。



新型コロナウイルス感染拡大による福井県内の警報等発令状況及び感染指標

新型コロナウイルスの福井県内感染者推移(県発表日別)



福井県の新型コロナウイルス感染拡大による警報等発令状況

- 令和2年4月14日 「福井県緊急事態宣言」発令
- 5月17日 「」解除
- 7月30日 「福井県感染拡大注意報」発令
- 8月27日 「福井県感染拡大警報」発令
- 9月3日 「医療提供体制特別警報」発令
- 9月24日 「」解除
- 11月13日 「福井県感染拡大注意報」発令
- 12月10日 「」解除
- 令和3年1月7日 「福井県感染拡大注意報」発令
- 1月9日 「福井県感染拡大警報」発令

newmeとは?

遠隔地での様々な体験を実現することが出来る全日空(ANA)のアバターロボット。
名前の由来は「新しい私(私自身)」。
さまざまなコミュニケーションを限りなくリアルタイムな体験として行えます。
遠隔での打合せ、海外の視察、技術指導に加え、教育や医療、ショッピングなど、様々な事業に新たな価値を生み出します。



こんにちは、「新しい私」。

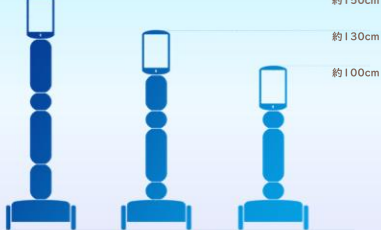
newme 活用イメージ

- **どんな体験も、どこからでも**
たとえば、自宅に居ながら水族館の展示やショーを見たり、好きなお店でショッピングを楽しんだり。newmeを介せば、そこに行く事と同じ状況が生まれます。
- **カラーと高さ、アレンジOK**
ボディカラーを選べます。ボディのパーツごとに選べるので、カラフルなコーディネートだって可能。高さも3段階から選べるので、体験したいことを、最適な位置で体験できます。
- **軽くて持ち運びやすく、上も下も向く**
設置のしやすさと気軽に持ち運べることを考え、ボディは軽量で折りたたみも可能。上下60°に首を振ることが出来るので、ワイドな視野で体験尾幅が広がります。





ANAアバターロボット コミュニケーション型



～newmeスペック～

走行速度	2.9km/h	電池	リチウムイオン電池
重量	S:14.5kg M:15.0kg L:15.5kg	折りたたみ	可
寸法 高さ	S:100cm M:130cm L:150cm	安全装置	衝突防止センサー
寸法ベース	35cm×44cm(横×奥行)	首振り	上下±60°
音声	スピーカー、マイク	ディスプレイ	10.1インチ(26cm)
ズーム機能	可(～2×)	タッチパネル	あり
素材	樹脂	画質	フルHD(2K)
稼働時間	約3時間		※avatarin (アバターイン)HP/リーフレットより



取組みの効果

① 顔が見える・会話ができることによる安心感

患者さんは、モニターに映し出された医師や看護師の顔を見ながら体調を伝えることができるため、入院に不安を感じる方にも安心していただくことができます。医療者は患者さんの顔色や身体の様子をモニターや声で確認できるため、細かい体調の変化にも気づくことができます。



② ご家族との面会

入院中のご家族との面会は、原則禁止としており、携帯電話などで会話しかできませんでした。モニターを通して顔を見ることが可能となり、患者さんと家族が共に安心して治療に専念していただくことができるようになりました。

今後期待すること

その① 医師・看護師の身体的負担軽減

更に高機能・高精度になれば、医師や看護師が病室に入らなくても病室にいる患者さんへの巡回や診察、服薬指導が可能となります。「非接触」で容態の確認ができれば、巡回の度に着脱の必要があるゴーグル、N95マスク、手袋、ガウンの手間や物資不足が解消できます。フル装備では手間や時間がかかる為、少しでも負担軽減に繋がれるようnewmeの運用を重ね、体制を整えていきたいです。



その② 院内感染リスク・心理的負担の軽減

患者さんと「非接触」で容態確認ができるようになれば、全国的に問題となっている院内・施設内での感染リスクやクラスター感染も防げます。医療者が抱える日々の心理的負担も軽減できるはず。また、医療者への感染リスクが軽減されることは、帰宅後のご家族の安心にも繋がります。

今後の展望

newmeの効果が確認されれば導入台数を増やし、結核などの患者にも役立てたいと考えています。また、昨年12月には人工知能(AI)を搭載した除菌清掃ロボット「Whiz(ウィズ)」を院内に導入致しました。新型コロナウイルスの感染者を受け入れるため専用病棟を設置した際、病棟の清掃を看護師が行っていましたが、「Whiz(ウィズ)」の導入により少しでも看護師の負担を軽減出来ればと思っております。未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにも、今後もこうした最新技術を活用し、職員や患者様、そしてそのご家族においても安心して過ごせる環境づくりを目指してまいります。



福井県医療の職場づくり支援センターでは、勤務環境改善に関するご相談を受付けております

「人材不足・人材定着」、「労働時間・勤務負担の軽減」、「育児・介護の両立支援」、「健康支援」、「年次有給休暇取得の促進」、「勤務環境改善マネジメントシステム」、「ハラスメント対応」など…

ご支援
までの
流れ

電話・メール・FAX
による問合せ

訪問日時の
打合せ

ご支援スタート

無料オンラインアプリ
Zoomでの
ご相談も
可能になりました!

※必要に応じて医業経営アドバイザーや関連窓口をご紹介します。
※ご支援は監督指導を目的とするものではありません。
※秘密厳守。安心してご相談ください。

宛先:福井県医療の職場づくり支援センター
イリョーシエン
iryo-shien@fukui.med.or.jp

福井県医療の職場づくり支援センター 医療労務管理相談コーナー

●福井市大願寺3丁目4番10号 福井県医師会内 ●電話 0776-24-1666/FAX 0776-21-6641 ●月曜日～金曜日(土日祝日、年末年始を除く) 900～1700

相談
無料